

「三丁公園計画図 ワークショップ(案)」

《いやしの展望広場ゾーン》

- ・現況の高い地形を生かし、眺望が望める。
- ・最も高いところには展望台を設置。
- ・既存の樹木や竹林の一部については現況にて保存。
- ・適宜植栽して緑豊かにすると共に、散策や休憩ができる癒しのゾーン。

トイレ

あずまや

展望台



主な施設はデザインを統一して一体性を持たせる。

《遊びの広場ゾーン（冒険遊びの広場）》

- ・子ども達が自由に遊べるよう、固定的な施設は置かず、フリーに遊べるエリア。
- ・現況の地形を生かしつつ、広場やあずまやなど最低限の整備は行う。

《遊び広場ゾーン（水の遊び広場）》

- ・小さい子どもを中心に水遊びができるエリア。
- ・周りに配置した遊具と一体的な活用ができるようにする。
- ・手洗い場と砂場を設ける。



水の遊び広場イメージ

《防災機能》

- ・太陽光発電タイプの照明灯。
- ・休憩所へソーラーパネルと蓄電池による太陽光発電システムを導入。（非常時電源）
- ・屋根付広場とその周辺エリアの非常時は、発電機付照明灯を導入。
- ・避難場所や災害発生時の活動の場となる屋根付広場。
- ・水道直結式の耐震性貯水槽。
- ・トイレ下にピットの設置と、周辺にマンホールトイレを設置。
- ・避難場所となる広場・防災倉庫。

《芝生広場ゾーン》

- ・南西側は調整池機能を兼用した芝生広場のゾーン。

《外周園路》

- ・敷地の周りには公園内を一周できる外周園路を設ける。

《エントランスゾーン》

- ・公園の顔となるゾーン。
- ・休憩所と駐車場の間には広場を設ける。
- ・駐車場の北側部分は臨時対応とし、普段はローラースケートやスケートボードなどの遊びができるフリースペースとして活用する。

